評価のポイント

CL-新人.看護実践能力：ニーズをとらえる力
［5-新人］患者アセスメントの基本（問診、視診、触診、聴診、打診、嗅診、データと情報の統合）

1．フィジカルアセスメントの基本手技である問診・視診・聴診・打診・触診・嗅診について、それぞれの目的を説明してください。

問診では患者の主訴（痛みや不快感、症状など）や疾病の発症についての情報を得る。視診からは身体各部の状況や異常を把握する。聴診ではからだの内部で生じる音を聴き分け、聴取された音から正常、異常を判断する。打診では、打診部位の下にある組織の状態を評価する。触診は臓器（組織）や腫瘤の形状確認と痛みなどの症状確認を目的とした触診がある。

2．フィジカルアセスメントを通して得た情報を統合するということはどういうことであるか説明してください。

問診で得た情報、視診、触診、打診、聴診、嗅診などのフィジカルイグザミネーションから得られた情報を分析、解釈、臨床推論を通して情報を統合し、看護ケアや医師への報告に繋げることが情報の統合である。